

令和6年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒ふるさとミュージアム					
所在地	生駒市山崎町11番7号					
指定管理者名	株式会社 地域文化財研究所	指定期間	開始日	令和 5 年 4 月 1 日		
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 10 年 3 月 31 日		
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 2 年目			
設置目的	生駒の歴史を標榜し、市民の皆さまが過去・現在の生駒を思い、未来の都市像を予測して頂くための施設の設立					
主な実施事業等	常設展示、企画展示、特別展示、体験型普及啓発事業、講座、講演会、資料の収集・保存・調査・研究・教育普及等					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来館者数 大人	人	-	5,155人	100.1%	
来館者数 子ども	人	-	2,357人	120.4%	夏休み期の新規事業による来館者増
来館者数 合計	人	9,000人以上	7,512人	105.7%	上記理由と同様
館外事業参加者数	人	800人以上	750人	99.5%	
多目的室利用	件	300件以上	235件	94.4%	定期利用団体の利用頻度減の影響

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	29,320,000	29,312,260	29,256,110
指定管理料		27,970,000	27,970,000	27,970,000
利用料金収入	C	180,000	109,410	118,930
自主事業収入		745,000	868,520	758,820
その他		425,000	364,330	408,360
支出計	B	29,100,000	28,683,411	28,998,470
指定事業費		28,575,000	27,999,275	28,448,480
うち人件費	D	12,290,000	12,186,094	12,137,120
うち再委託料	E	3,462,000	3,435,256	3,507,190
自主事業費		525,000	684,136	549,990
事業収支	A-B	220,000	628,849	257,640
利用料金比率	C/A	0.6%	0.4%	0.4%
人件費比率	D/B	42.2%	42.5%	41.9%
再委託費比率	E/B	11.9%	12.0%	12.1%
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	・芸能関係の展示が見たい。 ・生駒の考古を知りたい。 ・勾玉の形を増やしてほしい。 ・生駒ケーブル、生駒線、奈良交通など交通網の発展について知りたい。		・乙田の人形浄瑠璃についての展示を行った。 ・考古学入門講座を実施した。 ・夏休みに向けて、勾玉の形のバリエーションを増やした。 ・生駒駅開業110周年に関わる展示を行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価
	「生駒ふるさとミュージアムの管理に関する基本協定書」、「生駒ふるさとミュージアム管理運営基本仕様書」、「生駒ふるさとミュージアム管理業務特記仕様書」に基づき、施設の維持管理を行いながら、施設の設置目的である生駒の歴史文化の普及に資する事業を実施している。また、専門業者による燻蒸作業を行い、古文書等の収蔵資料にかかる保存管理を行った。
	市の評価 基本協定書、基本仕様書及び特記仕様書に基づき、登録有形文化財としての施設の維持管理と、歴史文化の発信拠点としての運営が行われている。年度計画とおりのテーマで事業や展示を開催し、当初計画どおりに管理運営を行えたことは評価できる。 毎月の月次報告において利用者に対するレファレンス内容の報告を受けており、対応が漏れることなく全て適切に対応できている。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価
	広報いこまちのほか、当館HPやX(旧Twitter)、Instagram、Facebook、LINE等の情報発信ツールを最大限活用し、イベントや講座の年齢層に適した告知を行った。また、夏休み前には勾玉のチラシを市内小学校全児童に配布し、より多くの来館に繋げる事ができた。
	市の評価 夏休み前の市内小学校児童へのチラシ配布は直接的な来館促進へと繋がっており、予想を超える反響を得たことは評価できる。 広報いこまちの読者層以外の多様な世代にリーチするため令和5年度に開設した公式LINEアカウントの運用は更新頻度が不十分なため、今後の活用を期待したい。他のSNS各ツールの更新頻度は高まっているため、来館者を直接フォロワーにつなげていく取組を期待している。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価
	来館者には通常アンケート、特別展・企画展観覧者、講演会受講者からの様々な意見・要望を取り入れるため、各種アンケートを行っている。去年度の回答数が534人に対し、今回は431人から回答を得た。市内からの来館者の次に、県外からも多く来られており、少しずつでも周知が広がっていることが分かった。生駒の歴史と文化入門講座の開催は今年度で9年目となる。講座の受講者は60代以上が97%を占め、約7割が3回以上のリピーターである。アンケートのコメントでも、「ずっと続けてもらいたい」「大変勉強になる」といった内容が多く、今後も参加者の意見を聞きながらテーマを決めていきたい。
	市の評価 アンケート内容を見直す等、アンケート取得促進計画を継続的にを行い、令和5年度に回答数を3倍以上に増やした成果を令和6年度も概ね継続して結果に繋げたことは評価できる。アンケート回答結果は、概ね利用者満足度の高いものであるが、要望や意見等小さいものもフォローできるように、月例報告時にも積極的に議題に挙げ、更なるリピーター獲得へとつなげていただきたい。 定期開催のミュージアム講演会受講者においては、令和5年度のアンケート結果を反映したテーマ選定を行うなど、リピーターであるファン層の満足度を高めたことは評価できるが、講座受講者の年齢層が限定的となっているため、異なった世代向けのテーマ選別等、新しいアプローチも進められたい。
経費の縮減等の効果（効率性）	
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	作業体験室や多目的室等の空調のこまめな調整、使用者のいない部屋やトイレの節電、温水機器の節電モードなどの日々の省エネ活動のほか、裏紙の再利用や古ファイルの再利用等、光熱水費・消耗品費の削減を積極的に行っている。
	市の評価 空調操作パネルの修繕の効果でこまめな調整も行えるようになり、昨今の光熱費高騰への対策を実施できている。昨今の物価高騰の影響は感じているが、限られた予算の中での調整や経費削減を積極的に行えている。経費削減だけではなく必要なところには経費を投じるなど、引き続きメリハリのある経費の執行をお願いしたい。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価
	勾玉づくりは例年通りに実施し、参加人数はやや増加している。この最近の2～3年は放課後デイサービスや塾などが団体で勾玉づくりを体験することが多くなった。また、中国からの短期旅行者が行うことも増えており、そうした団体に対する対応が課題となってくる。

	市の評価 夏休みの勾玉体験団体利用が継続して増えている点は、現在の体験内容が評価されている証拠でもあり、海外からの体験希望もある点は高く評価できる。一時的な旅行者に対する対応については検討が必要であるが、旅行会社を通じた口コミの拡大など、二次的な広がりにも期待が持てる。引き続き一つの団体への対応を丁寧に進めて欲しい。 なお、通常の勾玉づくり体験においては、ミュージアムの主力事業への参加に誘導していくための具体的な取組を期待したい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等） 指定管理者による自己評価 定期的に館長を中心に学芸員のミーティング等を行い、ミュージアム内の情報の共有を図っている。広報活動については、広報いこまちやSNSに加え、新聞各社やメディアでの広報活動を積極的に行った。特別展、企画展は読売新聞や朝日新聞、奈良新聞、産経新聞に掲載していただいた。メディアでは奈良テレビ、NHKラジオ第一放送、NHK奈良放送局ならナビ、朝日放送ニュースおかえりにて放送していただいた。令和5年度に行った餅つき大会は実施できなかったが、令和7年度は行っていきたい。正月遊びは「紙芝居クラブ」や「高山茶釜の会wi-wi」また囲碁クラブや書道クラブなどの協力を得て行うことができた。こうした外部組織との連携はこれからも大切にしていきたい。 市の評価 近年、館長を中心とした職員体制が固定化できており、職員の入れ替わりがあった際も引継ぎ体制は手厚く、大きなトラブルなく移行できていることは評価できる。月例で指摘のあった内容については学芸員ミーティングにおいて共有が図れている様子が伺える。 令和6年度は県内主要メディアへのアプローチが積極的に行われており、近鉄生駒駅にも無償で告知協力をいただくなど、新しい試みが高く評価できる。県内メディアから派生する口コミも効果があり、多方面からのファン獲得を今後も期待したい。 外部組織との連携は、市民の方にミュージアムをより身近に感じていただくため必要不可欠な要素であるので、これからも大切にしていきたい。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等） 指定管理者による自己評価 夏に子ども学芸員プロジェクトを募集したが、応募者がなく中止となった。募集の時期設定が悪かったためと考えている。一方、生涯学習課主催の「妖怪博物館」が大人気であったように、内容についてもう少し子ども目線のものにしていくなくてはならない。出前授業は7校となった。うち、1校は6年生を対象に出前で勾玉づくりをおこなった。他は3年生に対して「それぞれの校区の歴史」の説明と収蔵民具を持っていき、電気を使用していない時代の生活を理解してもらった。さらに中学校に対しても歴史の説明ができたらと考えている。中学生の職場体験も1校、行った。学芸員の仕事の内容について駅前をフィールドとして調査をおこなってもらい楽しく学んでもらった。 市の評価 子ども学芸員プロジェクトについては過去月例報告会でも少し募集内容が難解ではないかとの指摘があったので、もう少し親しみやすい内容にするなど、主要自主事業の一つなので、今後の工夫をお願いしたい。事業のクオリティを上げることも大切だが、まずは施設への誘引が前提である部分を再度意識していただきたい。市の配信システムの活用もできるので、早めの相談を心掛けて欲しい。 出前授業については継続的に評価をいただけており、実施報告書からは学校の満足度の高さが伺える。住んでいる地域の歴史を知することは子どもの郷土愛醸成に多大な影響を与えるため、引き続き力を入れて取り組んでほしい。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等） 指定管理者による自己評価 講座の申込等で収集した個人情報の取扱いなど、「個人情報の保護に関する法律(平成十五年法律第五十七号)の規定及び特記事項」を遵守し、業務を行っている。事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、スタッフで共有し、避難訓練、生駒市のシェイクアウト訓練に参加し防災の意識を高め、有事に備えている。衛生管理については新型コロナの収束後も、引き続き手指消毒、履き終えたスリッパのアルコール消毒を継続して行い、来館者の安全に配慮した管理運営を行っている。 市の評価 講座の申込等で収集した個人情報は必ず鍵の付いている場所に保管する等、取扱いは「個人情報の保護に関する法律(平成十五年法律第五十七号)の規定及び特記事項」を遵守した運営を確認しており、引き続き徹底した対応をお願いしたい。「危機管理マニュアル」の共有も本社・館内で定期的に行い、緊急連絡体制も月例報告時に毎回確認し、有事に備えられている。 維持管理に必要な各種点検を漏れなく実施されているとともに、修繕が必要な箇所等は迅速に相談があり、協議を行ったうえ実施ができていたり、感染症予防等の取組を継続するなど来館者の安全に配慮していることは評価できる。特に修繕の相談については、引き続き早めの相談・協議をお願いしたい。
サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等） 指定管理者による自己評価 継続的な経費削減、事業内容に応じた参加費の設定等により、黒字の収支となった。今後も施設本来の目的達成に向け、安定的な運営と質の向上を図りながら、来館者から高い満足度を得られるよう努めたい。

	市の評価
	安全に配慮した運営を行いながら、大きなクレームを受けることなく安定した収支を継続していただいていることは高く評価できる。事業収支計画の約3倍にあたる黒字を生み出した成果に加え、アンケートの評価は総じて高く、既存ファンの固定化と、更なる収入増加と新たなファン層の獲得に期待したい。

6 指定管理者の財務の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産	39,549,408	26,198,232	25,188,601
流動資産	33,867,803	21,133,572	20,475,928
固定資産	5,681,605	5,064,660	4,712,673
負債	52,931,471	48,058,519	46,841,571
流動負債	9,507,471	10,718,519	10,085,571
固定負債	43,424,000	37,340,000	36,756,000
純資産	-13,382,063	-21,860,287	-21,652,970
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	70,563,312	87,077,602	89,947,850
経常利益	-17,557,452	-8,199,589	484,856

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自己資本比率 純資産/資産×100	-33.8%	-83.4%	-86.0%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	-395.5%	-219.8%	-216.3%
固定比率 固定資産/純資産×100	-42.5%	-23.2%	-21.8%
流動比率 流動資産/流動負債×100	356.2%	197.2%	203.0%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	18.9%	32.7%	31.2%
総資産回転率 売上高/資産×100	178.4%	332.4%	357.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	-44.4%	-31.3%	1.9%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
企画展・特別展の内容については各学芸員の努力もあり、充実してきたと自負している。しかし、来館者数はあまり変わっていない。来館者の数も重要だが、見学に来た方にどれくらい納得してもらったかが大切である。ポスターやチラシの配布は重要な手段ではあるが、それ以外に特に若い人たちに来てもらうにはFacebookやXなどのSNSなどを用いた宣伝活動が大切となる。また、地域の人たちが気軽に参加できるような催し物の実施が望まれるところである。
市の評価
3期目も2年目を迎え、維持管理・企画運営・サービスと様々な面で計画通り行っていることを高く評価したい。限られた予算や人員の中で、最低限の経費で最大の効果を生み出す姿勢を継続的に維持して欲しい。新しい取り組みや、SNSの活用には課題を残すが、アンケートの内容を見ても総じて満足度は高く、基本的な市内郷土資料館としての良質なサービスが提供できている様子が伺える。 とはいえ、講座の参加者を見ても、年齢層に偏りがあるのは事実で、多世代の意見をどのように収集するか、課題解決に向けた取組の強化を進めて欲しい。 市との関係は良好で、小さなことでも迅速に相談があり、必要に応じて月例報告会以外の機会でも協議を行っていただき、とても助かっている。引き続き、手堅い維持管理と、良質なサービスの提供をお願いしたい。